

自施設の防災訓練 当院の災害用備蓄

医療法人社団 仁友会 尾道クリニック 災害防犯対策委員会

当院の備蓄は以下の通りと定めている。

- 透析関連物品 200人×7日分
ダイアライザ 50箱 透析回路 20箱 透析液 90箱
- 食料、水 90人×3日分
- 薬剤(カリウム薬) 非内服患者×3日分

透析関連物品

当院では、災害時に患者全員の透析条件を把握する困難さや、透析の準備にかかる負担軽減のため災害時使用するダイアライザの種類・膜面積を統一することとしており、物資の供給が滞る可能性もあるため 7 日分備蓄している。保管は衝撃に弱いダイアライザは崩れないように壁側へ配置し、保管場所の破損も考慮し、2 部屋に分散している。



食料、水

東日本大震災では、約 80%の電気が 3 日間で復旧していること、災害発生から 3 日間は人命救助が最優先といわれていることから当院では 3 日分の食料を備蓄している。



薬剤(カリウム吸着薬)

日頃からカリウムが多く含まれている食品を出来るだけ摂取しないよう患者指導を行っているが、3 日以上透析を受けられない場合には、臨時でカリウム吸着薬が処方できるように備蓄している。

掲載日：2023年11月28日